

■ 2018 年度 A 日程一般入試法律科目試験 「憲法」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨・解説】

生活保護受給者によるパチンコ等のギャンブルが社会的に大きく取り上げられた際、一部の地方公共団体において、生活保護受給者がパチンコ店に出入りした場合に通報することを求める条例が制定された。今回の出題は、こうした事象を参考にしつつ、GPSによる継続的な行動監視の問題点を考察させるものであった。

問1では、GPSによる継続的な行動監視によって侵害される生活保護受給者の利益を明らかにしたうえで、それがどのような憲法上の権利侵害として構成しうるのかを問うものである。標準的な解答は、憲法13条の幸福追求権に含まれるとされる「私生活上の自由」または「プライバシー」の問題としてとらえるものであるが、憲法22条1項に基づく「移動の自由」の問題として構成するものも可とした。「プライバシー」は多義的な概念であり、本文で問題となっているのが、私生活を「公表されない」権利・利益でないことに留意が必要である。

問2では、問1で論じた被侵害利益の憲法的構成を踏まえて、違憲主張を構成することとなる。そこでは、違憲主張にふさわしい判定基準を設定したうえで、その基準にもとづいて本件条例の規制目的の重要性、規制手段としての妥当性に対する批判的検討を行うことになる。

以上